

紀の川慈尊院地区の堤防整備についてご意見をいただきました

～『第3回 紀の川慈尊院地区堤防整備 景観検討委員会』を開催～

和歌山河川国道事務所

紀の川慈尊院地区の堤防整備にあたり、近傍にある世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を踏まえた周辺景観に配慮した整備を行うために、「第3回 紀の川慈尊院地区堤防整備 景観検討委員会」を開催しました。委員会では、周辺の景観に配慮した堤防整備の考え方やゾーニング、イメージパースを提示し、委員の方からご意見を頂きました。

概要

- 日時：令和元年9月27日（金）10:00～12:30
- 会場：和歌山河川国道事務所 5F会議室
- 主催：和歌山河川国道事務所
- 出席者：紀の川慈尊院地区堤防整備 景観検討委員会委員、和歌山県、九度山町

■紀の川慈尊院地区堤防整備 景観検討委員会委員構成

- 委員長 下村 泰彦(大阪府立大学人間社会システム科学研究科)
- 委員 佐久間 康富(和歌山大学 システム工学部)
- 委員 永瀬 節治(和歌山大学 観光学部)
- 委員 辻林 浩(和歌山県 世界遺産センター)
- 委員 芝 英司(和歌山県 県土整備部)
- 委員 釜谷 典男(九度山町役場 建設課)

委員会の内容

第3回 景観検討委員会の内容は以下の通りです。

【主な内容】

周辺景観に配慮した堤防整備の考え方やゾーニング、イメージパースを提示し、委員の方からご意見を頂きました。

【主な意見】

意見1 高野山町石道から堤防天端へのアクセスは安全面と景観を総合的に考え階段案で良い。ただし別途スロープの設置を検討頂きたい。(下村委員)

→階段付近にスロープの設置を検討する。

現在



整備後



県道13号線交差点の景観

意見2 新たにできる五輪塔卒塔婆付近の平場に休憩施設などを設置することで観光客にも配慮した計画となる。(下村委員)

→休憩施設の設置などの平場の活用については、今後九度山町と調整していく。

意見3 ゾーン1、3については、景観の観点から川側の法面に小段を設けアクセントを付けることで長い法面の見え方が緩和できる。(佐久間委員)

→小段を設けた場合の検討を行う。

意見4 ゾーン1、3の護岸については植生が期待できる

ポーラスタイプが周辺景観になじむと考えられる。(佐久間委員)

→ポーラスタイプの護岸で設計を進めていく。

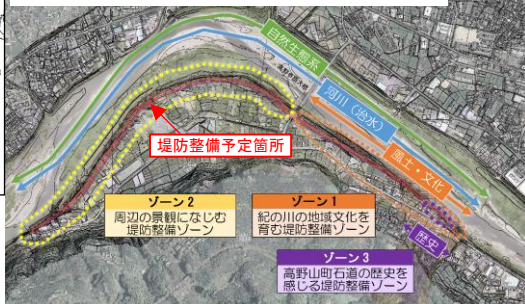
【会議の状況】



意見3・4

ゾーン3のイメージ

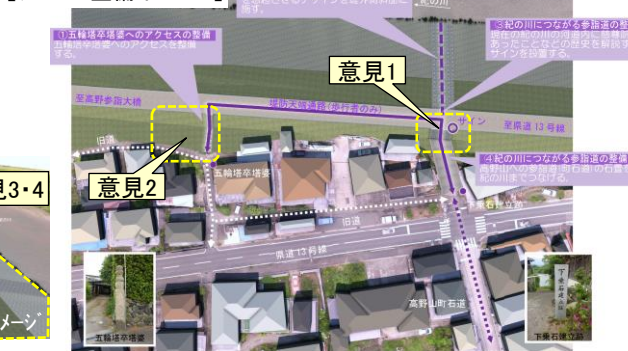
【慈尊院地区の堤防整備におけるゾーニング】



【ゾーン1、2整備イメージ】



【ゾーン3整備イメージ】



まとめ

慈尊院地区の堤防整備については、これまでの委員会での意見を踏まえた上で、細部の設計を進めていきます。なお、今後の予定として、地域住民を対象としたパブリックコメントを実施する中で必要に応じ、委員会で引き続き議論を行っていきます。

【お問い合わせ先】

近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 河川管理課
〒640-8227 和歌山市西汀丁16番
TEL:073-424-2471(代表)

